

## 平成30年度全国学力学習状況調査結果

### 1 テストの概要

- (1) 国語A 基礎的・基本的な知識技能が身についているかどうかをみる問題  
例) ・文の中の主語及び主語と述語との照応関係を捉える。  
・提案の内容に対する聞き方の様子から、聞き方の工夫として適切なものを選択する。
- (2) 国語B 基礎的・基本的な知識技能を活用することができるかどうかをみる問題  
例) ・目的や意図に応じ、新聞の割り付けをしたり、見出しや記事を書いたりする。  
・物語の登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉えるとともに、登場人物の気持ちの変化について想像しながら音読する。
- (3) 算数A 基礎的・基本的な知識技能が身についているかどうかをみる問題  
例) ・計算の結果のおよその大きさとしてふさわしい数値を選ぶ。  
・180度よりも大きい角の大きさを求める。
- (4) 算数B 基礎的・基本的な知識技能を活用することができるかどうかをみる問題  
例) ・日常の事象の解決に図形を見だし、その性質を記述する。  
・基準量、比較量、割合の関係を基に、示された求め方の誤りを指摘し、正しい求め方を記述する。
- (5) 理科 基礎的・基本的な知識技能が身についているかどうかをみる問題  
例) ・メダカの雌雄を見分ける方法を理解する。  
基礎的・基本的な知識技能を活用することができるかどうかをみる問題  
例) ・電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善する。

### 2 テスト結果 ○特に良かった内容 ●努力を必要とする内容 □今後の対応

- (1) 国語A 全国 70.7% 静岡県 69%  
○文中で使う漢字を答える問題は、どの設問もよくできていました。  
○「話す」「書く」に関する問題がよくできていました。  
○慣用句の意味や使い方がよくわかっていました。  
●敬語に関する問題ができていませんでした。
- (2) 国語B 全国 54.7% 静岡県 56%  
○話合いの司会の役割についての問題がよくできていました。  
○文章全体の構成についての問題がよくできていました。  
●話し手の意図を捉えながら、自分の意見と比べて考えをまとめる問題ができていませんでした。

全体的によくできていました。漢字の出題傾向は、文の内容から判断して正しい漢字を答える問題になっていますが、文の意味を理解して正しく答えることができていました。今までの取り組みの成果がよく表れていると思います。また、「話す」「聞く」といった、ここ数年、指導に力を入れてきた内容についてもよい結果が出ています。ただ、話し合い活動の中で、様々な意見を出し合いながら議論し、結論をまとめるというような「練り合える」までは至っていないので、これからの課題となっています。

敬語の出題趣旨は、「相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができるかどうかをみる」ということです。敬語を正しく使うのは難しく、大人でも迷ってしまうようなことがあります。

例えば、「〇〇様がおっしゃられたように～、」これは、二重敬語で間違えた表現なのですが、なにげなく使っていることがあります。他にも「申されました。」「何時頃、お戻りになられますか。」等も二重敬語で誤った表現です。丁寧に使おうと思いつぎてかえって変な言い方になっていることがあります。大人も正しい敬語を使えるように気をつけたいと思います。

(3) 算数A 全国 63.5 % 静岡県 63 %

○面積に関する問題がとてもよくできていました。

○グラフを読み取る問題がよくできていました。

○角度を読み取る問題がよくできていました。

●小数のわり算の意味について問う問題ができていませんでした。

(4) 算数B 全国 51.5 % 静岡県 51 %

○合同な三角形に関する問題がよくできていました。

○示された情報から、条件に合う時間を求める問題がよくできていました。

●メモとグラフを関連づけて考える問題や2種類のグラフから読み取るような問題ができていませんでした。

算数も全体的によくできていました。基礎基本がよく身につけています。これも朝学習やフォローアップタイムでの取り組みの成果だと思います。引き続き、個に応じた指導を心がけていきたいと思います。

算数Bの活用問題では、すべての問題で、全国の正答率を上回る結果となりました。その中でもグラフを読み取る問題2問とも正答率が低く、これからの課題となりました。グラフを複数の観点で考察したり表現したりすることができていなかったため、このような内容の問題を朝学習や宿題等に取り入れていきたいと思っています。

(5) 理科 全国 60.3 % 静岡県 60 %

○流れる水の働きに関する問題がよくできていました。

○電流の流れ方に関する問題がよくできていました。

○実験結果を分析し、考察する問題がよくできていました。

●人の腕が曲がる仕組みについて答える問題ができていませんでした。

理科も全体的によくできていました。人の腕の曲がる仕組みは、4年生で学習します。5年生で学習した内容よりも3年4年で学習した内容の方が正答率は低めの傾向です。理科は、時間が経つと忘れてしまうこともあるので、復習プリント等を活用していきたいと思います。また、理由を説明するような記述式の問題は、全国的に正答率がよくなかったので、自分の考えやまとめを自分の言葉で表現することをさらに力を入れていきたいと思います。

## (6) 学習状況調査より

### ① 自分自身に関すること

○学校のきまりを守っていますか。

○自分には、よいところがあると思いますか。

○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

●将来の夢や目標を持っていますか。

学校のきまりを守ることは、当たり前のことだと考えている子が多く、規範意識がしっかりとできています。また、自己肯定感がある子の割合も高く、とても良いことだと思います。「人の役に立っている」「認められている」と感じていることがとても大切です。

将来のことについて、ご家庭で話題になることがありますか。6年生は卒業に向けて、「あなたの夢は何ですか？」と聞かれることもあると思います。保護者の皆さんからお子さんへ、「子どもの頃は、こんな夢を持っていたんだよ。」や「この夢は実現したけど、こっちの夢は叶わなかったなあ。」など、これからのことについて、なんとなく話をしてみてください。

### ② 家庭や地域での生活

○家で、自分を計画を立てて勉強をしていますか。

○家で、学校の宿題をしていますか。

○家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。

○今住んでいる地域の行事に参加していますか。

●地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

家庭での学習については、習慣化され、良い取り組みになっています。

地域の行事に、まず参加することが一番だと思います。修善寺小の子どもたちは、地域の行事に積極的に参加している子が多く、意識も高いと思います。「地域や社会をよくするために何をすべきか」は、これから徐々に育っていく気持ちだと思っています。修善寺がもっと好きになり、大人になっても修善寺のことを大切に思える子どもたちにしたいですね。

### ③ 学習状況

- 5年生までに受けた授業や課外学習で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。
- 算数の勉強は大切だと思いますか。
- 算数の授業の内容はよく分かりますか。
- 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。
- 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。
- 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。
- 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。

今回の学力学習状況調査では、国語に関する質問がありませんでした。

算数と理科共に、授業の内容はよくわかり、授業中も集中して学習に取り組んでいるのがわかります。ただ、アンケート結果から、単純に学習が好きか嫌いかで聞くと、「あまり好きではない」という答えの割合が多く、少し残念な結果となりました。学習の本当の楽しさを子どもたちが感じられるように研修を積んでいきたいと思えます。

「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思えますか」の質問で肯定的な回答が少ないのは、前の設問の結果で分かるように、将来の夢がまだはっきりとしていないことと、理科や科学技術にあまり興味がないことが原因と考えます。理科のおもしろさをさらに伝えていきたいと思えます。